事業箇所総合評価シート

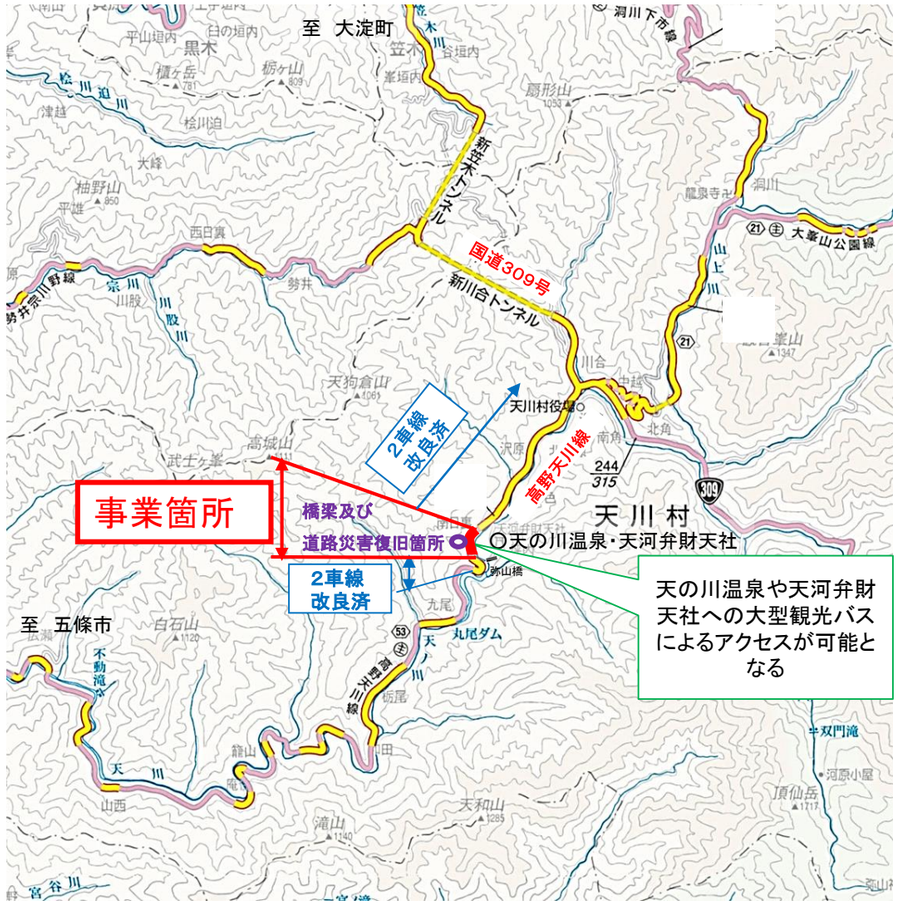
【担当課： 道路建設課】

事業名	補助道路整備事業	路線名等	主要地方道　高野天川線
箇所名	吉野郡天川村坪内～南日裏		

事業の概要	目　的	高野天川線は、天川村内を東西に横断し、一般国道309号と一般国道168号を結んでいる。平成23年の紀伊半島大水害により、当該区間内において深層崩壊が発生し、現在、橋梁及び道路災害復旧事業を実施中である。前後区間が2車線で改良済みであることを踏まえ、災害復旧事業に併せて一連の区間を効率的に整備することにより、円滑な交通を確保し、観光振興を支援するものである。				
	事業内容	延長　：　L=約0．6km 計画諸元：2車線　幅員W＝6．5m 事業内容：現道拡幅				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成30年度	全体事業費	約600百万円
定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ①天川村内で屈指の観光地である坪内地区への大阪方面からのアクセスルートのうち、一般国道309号丹生（にう）バイパスが完成に向け事業中であり、当該区間のみ唯一狭隘のまま残されることになる。 ②前後区間が2車線の改良済みであり、走行の円滑性に支障があることから、当該区間の整備が必要。 ③平成24年11月に2車線で架け替えが行われた村道の「弥山橋」とあわせ「天の川温泉」や「天河大弁財天社」への大型観光バスによる円滑なアクセスが可能となる。 【緊急性】 ①橋梁及び道路災害復旧事業が現在実施中であり、これに合わせた早急な整備が必要。				
	上位計画等	「奈良の今後の5カ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」（H20.12）				
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	①安全で安心な暮らしを提供する道路の安全性向上 ②観光客の増加による観光振興				
	コスト縮減への取組み	・橋梁災害復旧は被災前幅員までであり、合併施行により改良幅員を確保 ▲10百万円 ・道路側溝に既製品を採用 ▲　5百万円				
	地元情勢等	・高野天川線整備促進協議会が高野天川線の早期整備、特に紀伊半島大水害からの早期の道路復旧と災害復興のシンボルとして当該区間の2車線化を要望（H24.11）				
	他計画他事業との関連	・橋梁及び道路災害復旧事業は現在実施中。 ・「吉野大峯・高野観光圏整備計画」（H23.2）（吉野町・天川村・五條市・野迫川村・高野町）				

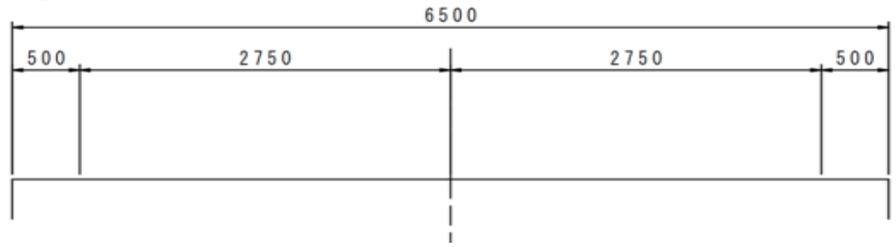
評価結果	左　の　理　由
採択	災害復興及び観光振興の観点から未改良区間の整備を推進するため、採択とする。

【位置図】



奈良県道路網図（平成23近使第43号）を転載

【標準横断図】



【現況写真】

深層崩壊発生箇所と直下の県道高野天川線

災害復旧箇所

※写真は、奈良県撮影